

第一号議案

平成27年度 定款に沿った事業計画
平成27年4月1日～平成28年3月31日

公益社団法人東京都山岳連盟

1. 登山道徳の啓発および普及(定款第4条第1号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
スポーツ指導者総会兼研修会	スポーツ指導者資格更新のための義務研	7月、28年2月	70名	指導委員会
スポーツ指導者向け都岳連通信発送	都岳連通信年間2回発送	5月(3, 4号) 7月(1, 2号)		指導委員会
少年少女登山教室	日山協より委託開催	5月	8名	指導委員会
日本山岳協会・指導委員総会	全国都道府県指導委員長参加の総会	6月	1名	指導委員会
安全走行講習会	山でのマナーについて講習	平成27年4～9月	50名	耐久レース委員会

2. 登山技術の普及(定款第4条第2号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
岩登り基礎技術講習会	確保指導技術、十二ヶ岳。	10/8(机上) 10/17-18(実技)	15名	指導委員会
レベルアップ講習会	ハイキングレスキュー講座	11/26(机上) 12/5-6(7実技)	8名	指導委員会
安全登山実践講座	日山協よりの委託で主管。(机上2回、実技2回)最小催行10名	10/22 机上1 10/25 実技1 11/12 机上2 11/15 実技2	8名 (最小6名)	指導委員会
安全走行講習会	トレイルランニングに必要な技術の講習	平成27年4～9月	50名	耐久レース委員会
トレッキングスクールの実施	主に登山の初心者に向けて、実地での登山を通じて、安全な登山の啓蒙をはかる。	春、夏、秋、冬	125名	安全登山教室委員会
沢登り教室の実施	沢登りに必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得をはかる。	6月～8月 机上 6回 実技 5回	12名(延132名)	安全登山教室委員会
岩登り教室の実施	岩登り、とりわけアルパインにおけるマルチピッチクライミングの基礎段階の習得をめざす。	6月～8月 机上 6回 実技 5回	25名(延275名)	安全登山教室委員会
雪山教室の実施	雪山登山に必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得をはかる。	H25～H26・4 机上6回 実技5回	30名(延330名)	安全登山教室委員会
マウンテンスクール	安全登山教室各講座を終了し、より高度な登山技術・知識を目指す登山者のための特別講座 7月～11月各月1回開催予定	7月～11月毎月一回開催	10名	安全登山教室委員会
外部団体への講師派遣	(公社)東京都山岳連盟への講師の派遣の依頼にたいして、指導員・上級指導員の派遣をおこなう。	深川SC 加盟団体講師 派遣講習会等	未定	安全登山教室委員会

3. 山岳遭難の予防と遭難対策(定款第4条第3号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
山のセルフレスキュー講習会「岩場のセルフレスキュー」	岩場のセルフレスキューで必要なロープワークの講習会	5月開催	15名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「山の救急法」	山の事故に遭遇した時の救急法の講習会	6月開催	15名	遭難対策委員会
安全登山講座「山で遭難しないために」	ハイカー・縦走者向けの読図・ロープワーク・ビバーク法等の講習会	11月開催	15名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「冬山のセルフレスキュー」	雪崩への対処と冬山搬送に必要な技術の講習会	平成27年2月開催	25名	遭難対策委員会
ワンポイント講座「ロープワーク」	ハイカー・縦走者向けとクライマー向けのロープワークの講習会 平成26年4月開催 受講者20名	4月開催	20名	遭難対策委員会
ワンポイント講座「テーピング」	山で多い足首捻挫のテーピング講習会	7月開催	12名	遭難対策委員会
安全走行講習会	地図読み・セルフレスキューについて	平成27年4～9月	50名	耐久レース委員会
山の天気入門講座	安全登山に必要な山岳気象の初心者向け基礎講座	4月～12月 10日間	25名	気象委員会
地上天気図の書き方講習会	ラジオ放送から得た情報を基に天気図を書く基礎技術の習得講座	5月 1日間	20名	気象委員会
天気図の見方講習会	地上天気図、高層天気図等、安全登山に必要な天気図の読み方の実践的な講習会	6月～7月 3日間	30名	気象委員会
秋の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、その他周囲の気象現象の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	9月～10月 2日間	30名	気象委員会
冬山の気象講習会	気象変化の激しい日本の冬山で遭難しないための山岳冬季気象情報を学ぶ講習会	11月	60名	気象委員会
委員研修会1	気象委員会専門委員の研修会ー1	10月	15名	気象委員会
委員研修会2	気象委員会専門委員の研修会ー2	2月～3月	5名	気象委員会
冬山の気象データ収集	加盟団体等を通して実際に登山した冬山の気象状況を収集し、分析し、広く登山者の冬山の安全登山に資する情報を公開する。	1月～3月		気象委員会
救助隊研修(春)	低山での山岳捜索技術の研究及び隊員の技術向上	4月	10名	救助隊
奥多摩開山祭	奥多摩商工会主催の安全登山祈願祭	4月	2名	救助隊
谷川岳山開き	安全登山祈願祭及び水上山岳会・群馬岳連・谷川岳警備隊との情報交換	7月	2名	救助隊
奥多摩遭難防止活動	青梅警察主催遭難防止キャンペーンと共催	10月	10名	救助隊
救助隊研修(秋)	岩場での山岳救助技術の研究及び隊員の技術向上	10月	10名	救助隊
谷川岳閉山式	安全登山祈願祭及び水上山岳会・群馬岳連・谷川岳警備隊との情報交換	10月	2名	救助隊
救助隊研修(夏)	高山山岳救助技術の研究及び隊員の技術向上	8月	10名	救助隊
救助隊研修(冬)	冬山山岳救助技術の研究及び隊員の技術向上	12月～3月	10名	救助隊
jRO講演会(年4回)	初・中級者対象の自救力アップ講演会	年4回	各回30名 総数120名	救助隊

4. 山岳スポーツ競技の普及及び推進(定款第4条第4号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
第7回ハセツネ30K	日本山岳耐久レースの入門レースとして、早春の奥多摩を走る大会を開催	4月12日	1500	耐久レース委員会
第23回日本山岳耐久レース(24時間以内) 長谷川恒男CUP	美しい奥多摩の自然の中で、自己の限界に挑戦し、強い身体を鍛えていくレースとして大会を開催	10月31日-11月1日	2300	耐久レース委員会
国体選手強化事業	年間を通じ、国体選手の強化、育成のための諸事業	通年	不定	競技委員会
ジュニア特別強化事業	将来の国体選手育成のための発掘、育成事業	通年	不定	競技委員会
スポーツクライミング東京選手権大会(リード)	都岳連主催、東久留米SCにて開催。第70回国体予選会およびジュニア強化選手権を兼ねる大会	4月	80名	競技委員会
スポーツクライミング東京選手権大会(ボルダリング)	都岳連主催、明治大学和泉キャンパスにて開催。第69回国体予選会およびジュニア強化選手権を兼ねる大会	4月	80名	競技委員会
スポーツクライミング東京選手権大会(スピード)	都岳連主催、明治大学和泉キャンパスにて開催。クライミング競技のオリンピック競技種目採用目指して、都岳連として他道府県に先駆けて取り組む種目	4月	40名	競技委員会
インターハイ東京都予選	高尾山北山稜 審判派遣	5月	150名	競技委員会
和歌山国体リハーサル大会・リードジャパンカップ派遣	和歌山県みなべ町 選手・監督・役員スタッフ派遣	6月	8名	競技委員会
国体関東ブロック大会 選手派遣	栃木県 選手・監督・役員スタッフ派遣	7月	12名	競技委員会
JOCジュニアオリンピック	富山県 選手・監督・役員スタッフ派遣	8月	10名	競技委員会
第70回和歌山国体派遣	和歌山県みなべ町 選手・監督・役員スタッフ派遣	10月	15名	競技委員会
関東小中学生クライミング 選手権大会	茨城県 選手・監督・役員スタッフ派遣	11月	12名	競技委員会
第6回全国高校生選抜クライミング大会選手派遣	埼玉県加須市 選手・監督・役員スタッフ派遣	12月	8名	競技委員会
日本クライミング選手権 選手派遣	選手・監督・役員スタッフ派遣	未定	5名	競技委員会
ボルダリングジャパンカップ 選手派遣	埼玉県 選手・監督・役員スタッフ派遣	平成27年2月	6名	競技委員会

5. 山岳指導者の育成(定款第4条第5号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
スポーツ指導員養成講習会	日体協公認山岳指導員を養成する	8月~2月	8名	指導委員会
日本山岳協会・中・高年安全登山指導者講習会	東京都で実施・都岳連が主管 5月・6月に下見調査、9月に本番	5月・6月 9月	70名	指導委員会

6. 登山に関する刊行物、機関誌の発刊及び映像制作(定款第4条第6号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
都岳連Webサイトの運営	毎月数回更新			広報委員会
都岳連メールマガジンの発行	6~12回/年			広報委員会
広報だよりの発行	毎月1回発行			広報委員会
新山のピンチ手帳	改訂版発刊、1000部			出版委員会
都岳連通信発行	都岳連通信年間4回発行。登山に関する情報、安全登山啓発関連情報伝達。			出版委員会

7. 登山施設の調査及び設置(定款第4条第7号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考

8. 山岳自然保護運動の推進(定款第4条第8号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
カタクリパトロール	奥多摩で数少ないカタクリ群生地の保護活動と合わせ、沢水に関するアンケート、チラシ配布や携帯トイレのPR活動を通じ、山のトイレマナーの啓もう活動を行う	4月18~29日、 5月17日	100名	自然保護委員会
観察会講師育成	観察会コースを巡り、参加者に解説する植物を確認する。コース上の危険箇所チェック	4月29日 5月9日	20名	自然保護委員会
春の自然観察会	春の里山を歩き山野草を解説しながら、登山マナーや山岳環境保護の重要性をうたえる一般市民向け活動	5月10日	80名	自然保護委員会
クリーンハイク	世界環境デーに合わせ、登山道の清掃やゴミ袋配布を通じた登山マナーの啓もう活動	6月7日	100名	自然保護委員会
委員研修会(夏・秋)	里山の自然観察を通じて、動植物・地学等の研鑽を積み山岳環境に関する委員のスキルアップを図る	6月14日 11月28日	20名 20名	自然保護委員会
自然保護指導員実地講習会	日山協自然保護指導員資格取得のための実地講習会。里山の自然観察を通じ、指導員の心得や活動等について解説	7月6日	20名	自然保護委員会
雲取調査山行(夏・冬)	東京都の最高峰雲取山の食害等の山岳環境調査、山荘・避難小屋のトイレ利用状況調査(夏版)	7月11~12日 12月12~13日	4名 4名	自然保護委員会
指導員通信発行(秋・春)	自然保護指導員に対する情報発信、および委員会事業等の参加呼びかけ	9月 3月	300名 300名	自然保護委員会
日山協自然保護委員総会	各岳連との情報交換、活動報告	9月	10名	自然保護委員会
観察会講師育成	観察会コースを巡り、参加者に解説する植物を確認する。コース上の危険箇所チェック	10月11日・17日	20名	自然保護委員会
秋の自然観察会	春の里山を歩き山野草を解説しながら、登山マナーや山岳環境保護の重要性をうたえる一般市民向け活動	10月18日	80名	自然保護委員会

8. 山岳自然保護運動の推進(定款第4条第8号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
自然保護指導員講習会(机上・実地)	日山協自然保護指導員資格取得および更新のための机上および実地講習会。指導員の実際の活動に役立つ知識の研鑽を積むとともに、里山の自然観察を通じ、指導員の心得や活動等について解説する	11月7日	70名	自然保護委員会
自然保護指導員認定	日山協自然保護指導員の新規(20名)・更新者(50名)の認定作業	3月	20名 50名	自然保護委員会
水質調査	御前山4ポイント・三頭山2ポイントの水質調査(11項目)、ヒトの泌尿と沢水汚染との関連を調査	3月～12月の10か月	40名	自然保護委員会
フィールドレポートまとめ	日山協自然保護指導員からの山岳環境に関するレポートをまとめ、必要に応じ自然保護委員会HPIにアップ	通年		自然保護委員会
自然公園指導員活動報告まとめ	環境省自然公園指導員の年間活動報告をまとめ環境省に提出	平成28年4月末	21名	自然保護委員会
春のグリーンフェスティバル	ハセツネ30Kの後、コース清掃や地元への感謝を込め実施	4月18日	200	耐久レース委員会
秋のグリーンフェスティバル	日本山岳耐久レースの後、コース清掃や地元への感謝を込め実施	11月8日	200	耐久レース委員会

9. 高所登山の研究と国際交流(定款第4条第9号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
第33回海外の山を知ろう		6月	30名	海外委員会
第34回海外の山を知ろう		11月	30名	海外委員会
高所順応研究会		3月		海外委員会

10. 登山に係る保険・共済事業の運営(定款第4条第10号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考

11. その他本会の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第11号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
講習会のリスク管理(安全対策中心)	平成26年度に引き続き、講習会の事故事例をまとめ東京都山岳連盟で開催する各種講習会・教室等での事故防止のガイドを作成する。			安全運営管理委員会